



# 堀船中だより

北区立堀船中学校長 鈴木 格也

立 春

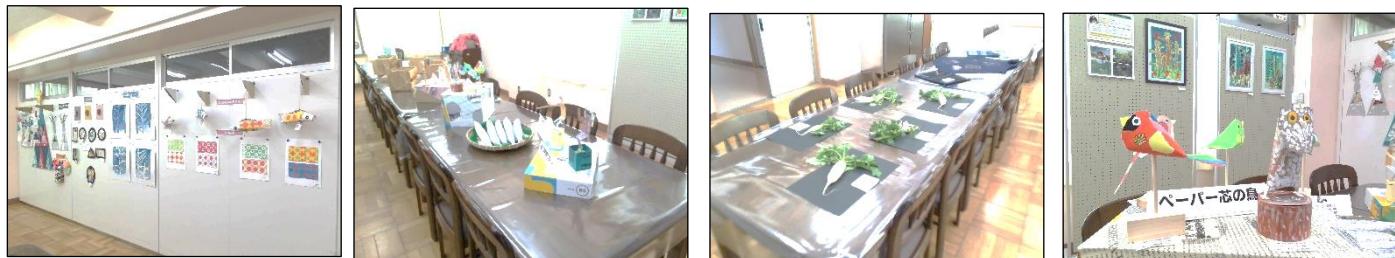
校長 鈴木 格也

今日は、冬から春へと季節の分かれ目となる節分です。古来、季節の変わり目には「邪気が生じる」と信じられていたため、節分には豆まきをしました。そして、明日は立春です。四季の始まりは立春、続いて立夏、立秋、立冬として一年が周り、立春は春の始まりであり、1年の始まりとされる日です。だんだんと春の気配が感じられるようになりますが、今は寒さが最も厳しい時期を迎えてます。体調を崩さないようにうがい・手洗い・感染対策をして、健康に留意した毎日を過ごしましょう。

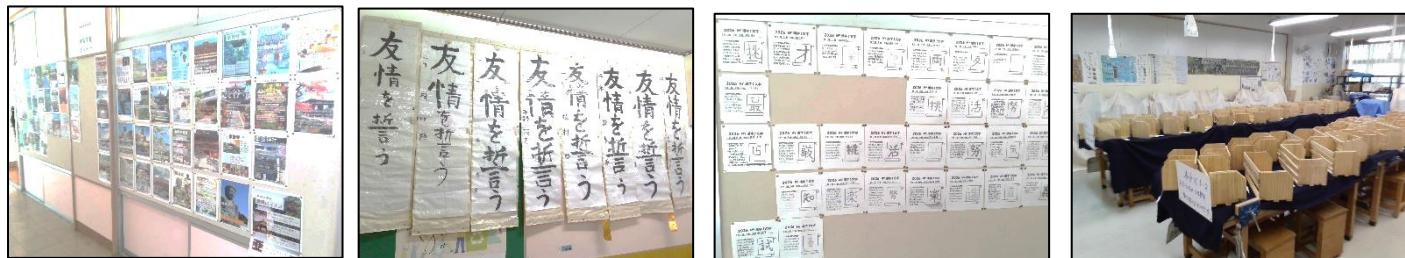
1月10日(土)は学校公開・校内作品展と 3 組バザー(キャリア実習)、そして1月24日(土)から26日(月)までは北区立中学校連合展覧会がありました。校内作品展では、教科・学年・部活動の日頃より取り組んできた成果として、作品がたくさん展示され、見ごたえのある各学年のフロアでした。保護者・地域の方々には、学校改築で、身近に足を運ぶことができない状況ですが、10日(土)には約30家庭の方々が訪れ、生徒作品をご覧いただきました。生徒の作品には、「視点の面白い作品」や「工夫された素敵なお絵かき」、「一人一人の表現方法が様々で、表現することが上手な作品」などがあって、興味深く感じられたのではないでしょうか。ご参観、ありがとうございました。また、24日(土)からの連合展覧会では、書写・美術・技術・家庭の教科作品と特別支援学級の作品が展示され、開催期間中には約1300人の参観がありました。それぞれの学校で取り組まれている生徒作品には、変化があり、とても見応えのある展覧会の様子でした。

さて、昨年の12月から1月にかけて、校長室では3年生との面接練習を行いました。入室から退室するまでの所作(入退室の仕方、歩き方、礼の仕方、姿勢、視線など)、質問の受け答え方、声の大きさや抑揚を基本事項として、志望理由や高校入学後の抱負、中学校生活の様子などを質問事項として、1人15~20分間の練習でした。個々に行った面接練習の第1印象は、緊張感があり、みんな素直で、まっすぐ一生懸命な姿にとても好感をもちました。生徒の中には、柔らかな表情を浮かべながら、伝えたいことを滑らかに話せる生徒、社会情勢を把握して所感を話せる生徒もいました。特に、「堀船中学校生徒として誇りをもっていることは何ですか」との質問に対して、ある生徒は「学校教育目標です。自ら学び、自ら考え、自ら行動できる生徒です。」との答えにはビックリしました。その3年生も、高校入試に不安を感じながら、進路決定するための重要な時期を迎えています。都立高校入試では、3年前より志望校への出願がインターネット出願に変わり、中学校では生徒のインターネット出願された内容を確認・承認する電子事務手続きに神経をつかっています。今は私立高校推薦入試、都立高校推薦入試が終り、その結果の知らせが届いています。2月10日(火)からは私立高校の一般入試が行われ、翌日には結果が届きます。3年生はまだ入試が続きます。最後まで健康に留意しながら、真剣に頑張って乗り切ってください。そして、受験生をもつご家族のみなさんの健康と惜しみない協力をお願いします。その一方で、1・2年生にとっての現在は、毎日が逃げていくようにとても早く過ぎていきます。この一年を総括し、来年度を見据えた生活を過ごしてほしいです。

◆ 校内作品展の様子 ◆



「3組生徒作品」



「1年 生徒作品」



「2年 生徒作品」



「3年 生徒作品」



「3組バザー(キャリア実習)」

ペン立て、バスケット、箸置き、しおりをみんなでつくり、販売しました。

多くの方々にお買い求めいただき、ありがとうございました。

◆ 区立中学校連合展覧会の様子 ◆



「書写」

「美術」

「技術」

「3組」・「家庭」